

安全で健康的な 職場づくり

TOYO TIRE の SDGs (2030年のあるべき姿)

- AI・IoT を活用した生産工程のスマート化など人的負荷を軽減する技術の開発・導入により、全ての人が安全で、健康的に働く社会づくりに貢献する。

優先的に取り組むべき課題

- グローバル水準の労働安全管理、労働衛生管理

優先的に取り組むべきと考える理由 (機会とリスク)

TOYO TIRE は、企業活動の全てにおいて安全が優先することを徹底し、企業活動において安全を確保することが全てのステークホルダーに対する企業の責務であると考えています。また、従業員の健康づくりの推進は生産性向上や企業価値向上につながるものであり、将来的な事業成長において重要な経営課題であると認識しています。社内では従業員のグローバル化・多様化が進んでいますが、全ての従業員を対象とした労働災害の防止と健康増進、快適な職場環境の構築およびその継続的な管理と改善は、経済的・人的損失を減少させるだけでなく、生産性や品質の向上など業績や企業価値の向上につながると考え、優先的に取り組むべき課題と位置づけています。

2019年度の重要な取り組み

- 自然災害対応シミュレーション訓練を実施

マネジメント手法

方針

TOYO TIRE では OSHMS 方針（労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針、厚生労働省）をベースとした労働安全衛生マネジメントシステムを運用し、労使が一体となり、経営トップの指揮のもと、リスク評価とその結果に基づく必要な措置の実施を中心に、全社的な安全衛生管理を推進しています。

労働安全衛生に関する年度方針、目標、計画は労使合同の全社安全衛生会議において決定し、環境・安全衛生委員会の承認を得て安全衛生管理を実施しています。また全社安全衛生会議において計画進捗に対する評価および改善を実施しています。

目標

災害度数率、休業度数率、火災発生件数などを指標として、職場の労働安全衛生状態を把握し、改善に努めます。

責任(2020年4月現在)

品質環境安全統括部門管掌常務執行役員

安全な職場づくり

TOYO TIRE は全事業所において、安全の取り組みを「ハード(設備)」「ソフト(人)」「管理の仕組みづくり」の観点で進めています。

ハード面においては危険源のリスク評価を行い、設備の安全基準に基づいた危険源の排除、囲い込みやインターロックなどの安全対策を推進しています。ソフト面ではハード対策後に残る「残留リスク」の表面化に努め、高残留リスクの表示や作業標準による管理、小集団活動(少人数グループによる自主的な改善活動)での危険予知活動等を通じたリスク管理を充実徹底しています。

一方、ヒューマンエラーによる災害も撲滅できていないため、引き続きリスク低減活動と人の行動を変えるための意識の高揚・維持活動に取り組んでいます。

また、管理の仕組みづくりにおいては、安全管理システム(OSHMS/GSC/OHSAS18001)の充実を図っています。

労働関連で事故が発生した場合にも迅速に対応することで、会社や従業員へのリスクを軽減し、従業員の安全と会社の信用を守り、リスクの発生を最小限に抑えることを目的として、「労働災害対応マニュアル」を策定しています。本マニュアルでは労働災害に対し、必要な危機管理体制・平時のなすべき事項、従業員の行動要領・有時になすべき事項を定め、労働災害発生時の対応の具体的な手順を明確にしています。

また多様な人材が就労する製造拠点においては、全ての従業員が安全に働けるよう、多言語による情報提供や、イラストや色警告を用いた指導を行っています。

こうした取り組みの成果として、2019年度は日本においては全災害件数を2018年度比14%削減しました。

2019年度安全実績

- 製造拠点従業員の休業度数率
(100万延べ実労働時間あたりの休業災害件数)

日本：0.16 日本以外の地域：1.82
(2018年度 0.60) (2018年度 1.81)

災害に強い職場づくり

TOYO TIRE は火災発生予防管理の充実と、東日本大震災などの大規模災害の経験を踏まえた防災・減災の取り組みを強化してきました。

年々被害程度が増している自然災害への備えとして、当社の専門委員会である危機管理委員会において外部の専門機関に協力を

いただきながら机上訓練(シミュレーション)を実施し、既存のマニュアルにおける課題の抽出を行いました。そして、その課題を踏まえ、2019年3月に「自然災害対応マニュアル」を改定しました。

健康経営の推進

TOYO TIRE は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する健康経営の考えを支持し、これまで、特に長期欠勤の主要因であるメンタル疾患への予防対策を強化してきました。

なお、当社グループでは感染症・伝染病による被害を軽減し、従業員の安全を守り、リスクの発生を最小限に抑えることを目的として、「感染症・伝染病対応マニュアル」において、必要な危機管理体制・平時のなすべき事項、従業員の行動要領・有時になすべき事項を定めています。

※2019年末から続く新型コロナウイルスの感染拡大の影響への当社グループの対応については、P31をご参照ください。

TOPICS

自然災害対応シミュレーション訓練を実施



TOYO TIRE では年々被害程度が増している自然災害への備えとして、「自然災害対応マニュアル」を策定しています。

TOYO TIRE 株式会社では、2019年3月に改定したマニュアルに基づき、大規模自然災害発生時の緊急対応を想定した、リアルタイム型のシミュレーション訓練を実施しました。

今回の訓練には当社の各組織から60名以上が参加し、緊急対策本部メンバーとして、発災後のBCPの初動対応レベルの確認や課題抽出を行いました。訓練で明らかになった計画面および体制面に関する改善点は、引き続き危機管理委員会において対応していきます。



自然災害対応シミュレーション訓練

TOYO TYRE MALAYSIA SDN BHD:



マレーシア政府から安全賞表彰

TOYO TYRE MALAYSIA SDN BHD はマレーシアの労働安全省が実施している体系的労働安全衛生レベル強化プログラム(SoHELP)に参加しています。SoHELPは労働安全衛生が関連する問題の軽減と労働安全衛生法令の遵守を目的としており、マレーシア全土で270の多国籍企業が参加しています。

参加企業は本プログラムに基づき、一連の労働安全衛生マネジメント(計画→リスク評価→是正→経営層による監査→教育訓練→政府による監査)を実施します。同社はリスク評価により明らかになった課題に対し、職場での見える化や従業員の教育訓練に取り組みました。そうした活動が政府から評価を受け、2018年度に最も優秀な取り組みをした企業(BEST OVERALL WORKPLACES SOHELP IMPLEMENTATION 2018)の10社のうちの1社に選出されました。

今後も同プログラムを通じて、予防保全を徹底する安全な職場文化の醸成を推進します。



マレーシア政府から優秀賞「CHAMPION」を受賞

データの集計範囲、集計期間、算定条件・根拠についてはWebサイトをご確認ください。